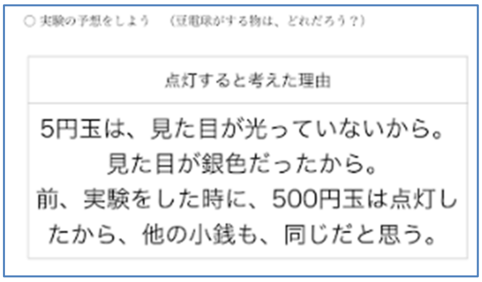
ICT2023-08

教材・支援機器活用実践事例【ICT】

考察に時間をかけるための ICT 活用
「理科の実験の記録・発表の工夫」

<table>
<tr><td rowspan="3">子どもに
ついて</td><td>所属・学年</td><td>特別支援学校・高等部２年</td></tr>
<tr><td>障がい名等</td><td>知的障がい</td></tr>
<tr><td>子どもの実態
（学習上又は生活上の困難さ等）</td><td>・教科学習として理科を履修している。実験や観察でプリントに記録をさせると、記入に時間を要するため、時間内に本時のまとめができないことがある。</td></tr>
<tr><td rowspan="3">授業に
ついて
（教材・教具を使用した授業や指導場面）</td><td>教科名等</td><td>理科</td></tr>
<tr><td>単元(題材)名</td><td>単元名「身のまわりの物を調べよう」</td></tr>
<tr><td>単元(題材)の概要</td><td>・身のまわりの物は電気を通すのか通さないのか（豆電球が点灯するかどうか）について、実験を通して理解を深める。</td></tr>
<tr><td rowspan="3">教材・教具
支援機器に
ついて</td><td>教材・教具
支援機器</td><td>タブレット端末、ＴＶモニター


</td></tr>
<tr><td>ねらい・工夫点</td><td>〈ねらい〉
○タブレット端末の使用により、記録やデータの共有を円滑に行い、結果の考察やまとめ、発表に注力できるようにする。
〈工夫点〉
・タブレット端末で入力する形で記録を取り、短時間で行えるようにした。
・まとめた内容を即座にＴＶモニターに映し出せるようにした。
・他のグループと写真を見比べることができるようにした。</td></tr>
<tr><td>材料・作成方法等</td><td>タブレット端末、アプリ（Keynote）</td></tr>
<tr><td colspan="2">子どもの変容や評価</td><td>・記録よりも考察に時間をかけたり、発表やグループ間の比較に時間をかけることで、実験者の違いによらない科学的現象の普遍性について、理解することができた。</td></tr>
</table>

（令和５年度）